

23年度予算が地域経済に もたらす効果は

新志会
山谷 仁議員

問 特別会計を含む予算総額は、総額250億2千万円余で、前年対比8億8,500万円増、前年対比3.7%増となっております。

答 また、一般会計予算については拡大される子ども手当の影響、普通建設事業などの増加により、総額151億1千万円、前年対比、額にして1億3千万円増の0.9%の増となっているが、この予算効果をどう考えるか。

答 一般会計予算については、拡大される子ども手当が地域経済に少なからずの影響を与えるものと考えます。また、今般の雇用情勢に

問 23年度予算では、国民健康保険税の引き下げについての提案がされていますが、引き下げの経緯と今後の考えを伺います。

答 国保の財政調整基金残高は、22年度3月補正予算後に2億1千532万6千円の見込みであり、景気の低迷などによる被保険者の負担軽減を図るため、国保税の引き下げを予定し、来年度以降も継続できるよう努力してまいります。

問 疾病の早期発見や早期治療のため、特定健康診査・特定保健指導に力を入れます。特定健康診査の自己負担分の無料化も検討します。

引き下げ額
医療費分の均等割
21400円→20200円
世帯別平等割
26400円→24500円



▲IPUイノベーションセンターと岩手山

IPUセンターと パークの進捗状況は

問 企業立地が促進されることは村の将来に明るい材料となるが、IPUイノベーションセンターの入居を促進し、イノベーションパークの造成に着手しておりますが、村の最重要課題のこのプロジェクトの状況と今後の展望を伺います。

答 自治体としての長期的展望を踏まえ、後期計画において「若者定住」を重点政策のひとつに掲げており、「雇用の拡大」と「若者定住」は密接不可分の関係にあり「職住近接」は村の課題であります。盛岡西リサーチパークや滝沢村イノベ

ションセンターへの企業誘致や滝沢村イノベーションパークの整備を計画的に進め、雇用の拡大をめざしております。

その他の質問

- ・中期財政計画について
- ・交流拠点複合施設建設について
- ・スマートインターチェンジ構想について
- ・市制移行について
- ・八幡館山遺跡、大釜館遺跡の観光化について
- ・子宮頸がんなどの予防接種について

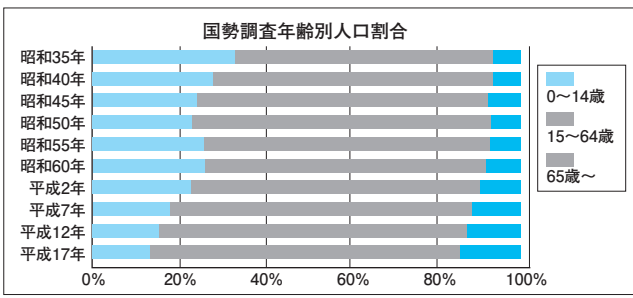
介護予防と高齢者の 自立支援は

春緑クラブ
高橋 寿議員

問 昭和50年代、全国で建設された新興住宅街に買い物難民や急激な高齢化が進展しています。本村にも同様な地域が多々あることから、孤独な高齢者世帯や独居高齢者の支援について伺います。

答 昭和50年代、全国で建設された新興住宅街に買い物難民や急激な高齢化が進展しています。本村にも同様な地域が多々あることから、孤独な高齢者世帯や独居高齢者の支援について伺います。

答 高齢者の閉じこもり予防や地域ぐるみでの高齢者支援体制を目的に、「いきいきクラブ」や「いきいきサロン」を開設しています。「いきいきサロン」は現在、7か所開設し、実施回数に応じて委託料を支払っています。



問 50年代の人口急増に社会基盤整備が追いついていないことから、積極的財政により、次の様な事柄に対処するべきではないか。
・水洗化率の向上
・配水管(鉛管)の交換
・村道の整備率
以上伺います。

答 村債残高は15年度にピークを、また、18年度に再度のピークを迎えました。その後プライマリーバランスの黒字化や大型建設事業の縮小など村債残高はピーク時より約23億円減少しています。しかし、滝沢村中期財政計画では24年度、27年度にかけて大型建設事業を見込んでおり、20億円、27億円台で大幅に増加するものと考えています。下水の水洗化については農業集落排水・浄



▲将来の農畜産業の発展を望む

問 TPPは8年前にニュージーランドやチリなど4カ国でスタートしたが、輸出補助金なしの純農業生産国であるケアンズグループが主力であることから関税の撤廃は確実と言われている。この事からTPP参